

第 54 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2014 年 9 月 16 日（火） 14:00～16:00

2. 場 所：機械振興会館 102 号会議室

3. 出席者（役職／氏名順、敬称略）

No.	役職	氏名	所属	出欠
1	議長	三木 哲也	電子情報通信学会	出
2	幹事	鶴原 稔也	電子情報通信学会	出
3		札野 順	日本工学教育協会	出
4	委員	狼 芳明	日本機械学会	出
5		橋本 義平	日本技術士会	出
6		剣持 庸一	日本工学教育協会	出
7		宮越 直樹	日本原子力学会	出
8		瀧澤 照廣	電気学会	出
9		酒井 祐之	電気学会	出
10		宇野研一	安全工学会	出
11	オブザーバー	川上 理英	日本工学教育協会	出

3. 議題

- ① 前回議事録(案)について（審議）（技倫資料 54-3）
- ② 今年度の公開シンポジウムについて（審議）（技倫資料 54-4, 5）
- ③ WECC2015 について（審議）（技倫資料 54-6）
- ③ 電気学会倫理委員会編「事例で学ぶ技術者倫理」について（報告）（技倫資料 54-7）
- ④ 各学協会活動報告（報告）（技倫資料 54-8）
- ⑤ 次回協議会の日程について
- ⑥ その他

4. 配布資料：

- 技倫資料 54-1：第 54 回技術倫理協議会 議題表
 技倫資料 54-2：第 54 回技術倫理協議会 出欠表
 技倫資料 54-3：第 53 回技術倫理協議会 議事録(案)
 技倫資料 54-4：日本工学会技術倫理協議会第 10 回公開シンポジウム《案》
 技倫資料 54-5：日本工学教育協会「技術者倫理教育における学習・教育目標」解説につ
 いて
 技倫資料 54-6：WECC2015 技術倫理関係 セッションの構成
 技倫資料 54-7：電気学会倫理委員会編「事例で学ぶ技術者倫理」チラシ
 技倫資料 54-8：第 54 回技術倫理協議会 会員活動報告

5. 議 事

- ① 前回議事録案の確認（技倫資料 54-3）
 - ・ 原案通り了承。
- ② 今年度の公開シンポジウムについて（技倫資料 54-4, 5）
 - ・ パネルディスカッションの司会は、札野幹事とする。
 - ・ 各講師への依頼は、三木議長と札野幹事が行う。
 - ・ 各講師への依頼文《案》を鶴原幹事が作成し、三木議長と札野幹事へ至急送付する。

- ・シンポジウム案内は、9/24の日本工学会理事会で事務局の木暮さんから紹介してもらおうと共に、事務連として送付する。

③WECC2015について（審議）（技倫資料 54-6）

- ・本件については、10月1日までに講師を確定し、その後事務局から正式な依頼書を送付する予定である。

④電気学会倫理委員会編「事例で学ぶ技術者倫理」について（技倫資料 54-7）

- ・電気学会倫理委員会が編集した「技術倫理事例集」の第2集を出版することとなったので、紹介する。
- ・10月2日に販売を開始する。
- ・今回は、16の事例を取りあげている。

⑤会員学協会活動報告（技倫資料 54-8）

	学協会名	報告概要
1	電気学会	<ul style="list-style-type: none"> ・2014年5月29日技術士会で取り組みを紹介 ・6月23日第28回倫理委員会開催。8月21日開催倫理研修会の検討、2014年9月発行予定の「技術者倫理事例集（第2集）」の製作進捗、電気学会誌特集号の検討等。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年8月21日第7回技術者倫理研修会を予定 ・2014年9月30日倫理委員会において、渡部孝男氏（東北電力 常務）講演を予定 ・2015年学会誌特集号掲載「現代社会と技術者倫理」
2	電子情報通信学会	<p>10月14日（火）に技術と社会・倫理（SITE）研究会を下記要領で開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：10月14日（火）14:00～16:40 ・場所：日本大学駿河台キャンパス理工学部1号館 ・URL：http://www.ieice.org/~site/
3	日本機械学会	<p>9月7日14:00より東京電機大学（北千住）にて2014年度日本機械学会年次大会の市民フォーラム行事として「白熱教室：ロボット倫理・生命倫理を考える」を実施した。参加者は一般参加者含め25名。講師の千葉大学の小林正弥教授の巧みなリードにより活発な議論が出来た。</p>
4	日本技術士会	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回倫理委員会（8/21）を開催し、3小委員会の活動報告。倫理研修用教材（PPT）のウェブサイト掲載、第2回技術者倫理ワークショップ計画（11/9、福岡）、月刊「技術士」倫理シリーズ計画。技術者倫理連続セミナー（全8回）計画。
5	日本原子力学会	<p>1. 原子力学会倫理規程の全面改訂</p> <p>原子力学会倫理委員会は、平成26年5月28日の第7回理事会の承認を得て、4年ぶりに倫理規程を改定した。この倫理規程は平成13年5月に制定されて以来、ほぼ2年ごとに部分改定を行ってきたが、今回、平成23年の東京電力福島第一原子力発電所の事故の反省を踏まえ、原点に立ち返り「倫理のあるべき姿」を徹底的に議論し全面改訂を行った。</p> <p>改訂の基本方針は、原子力安全の確保を最優先として行動す</p>

		<p>るという理念を継続することは当然であるが、さらに、次の3点からより充実した倫理規程の策定を目指した。</p> <p>3つの視点とは、</p> <p>(1) 倫理の本質に立ち返り、正義と品格を有する質の高い倫理規程を目指す</p> <p>倫理は、「倫理的に不適切な行動を戒める(ethics)」という面と「社会・人のためになることに積極的に取り組み、技術者として期待される使命を果たす(Ethics)」という二つの面があり、両者とも重要である。特に、後者は、倫理的行動の原動力となるもので、学会活動の大前提でもある。憲章では、第1条として、この行動原理を掲げ、会員の行動に対する価値観・使命感を明確にした。また、倫理規程としての網羅性とそのバランスを図るべく、内外の倫理規程等を参考とし倫理規程の構成から再検討した。</p> <p>(2) 現実を踏まえた倫理規程（組織の中の個人）</p> <p>本来、倫理は個人の自主性に根ざしたものであることより、従来の倫理規程では組織について言及していなかった。しかし、原子力に従事する大多数の技術者は特定の組織に属しており、その行動は、所属する組織の方針、施策、文化に大きく影響される。この現実を踏まえ、個人と組織の係わり合いについて、会員のとるべき行動を憲章 第7条として明記した。また、原子力の平和利用と安全の確保において、学会の枠にとらわれず、原子力に従事する全員のよりどころとなる規程を目指した。</p> <p>(3) 実務への実装の重要性（スローガンだけで終わらせない）</p> <p>どんなに優れた倫理規程でも実務で運用しなければ意味がない。このため、倫理規程を実務において適用することの必要性を随所に盛り込み、さらに、行動の手引きで具体化を図った。しかし、倫理規程を実務においていかに活用するかという課題は、倫理規程だけで解決できる問題ではなく、今後、さらに、展開する必要がある。この問題は原子力学会以外の各学会においても直面している共通の課題である。</p> <p>2. 原子力学会秋の大会の倫理委員会企画セッションを開催</p> <p>9月8日京都大学において、原子力学会秋の大会の倫理委員会企画セッションを開催した。今回のテーマは、倫理規程が全面改訂されたことに鑑み、「倫理規程の意義はどこにあるのかーコトバと行動ー」をテーマに、倫理規程（コトバ）と実業務の狭間は埋められるか？について講演、議論を行った。</p>
6	日本工学教育協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 倫理綱領パブリックコメント募集開始. ・ 8月29日（金）年次大会（広島大学）にて倫理 OS・WS 実施. ・ 12月6日（土）第2回国際 WS 開催予定. 翌7日（日）第15回 WS 開催予定. とともに会場は金沢工大虎ノ門校舎.

7	日本マリンエンジニアリング学会	JIME CPD 基礎コース講習会[8月28日(木),岡山国際交流センター]の機関・電気コースにおいて、それぞれ1コマ「技術者倫理」の講義を行った。
---	-----------------	--

⑥次回協議会の日程について

- ・次回協議会は、11月18日(火) 15:00～17:00とする。
- ・会議室は東京理科大学森戸記念館を予定するが、空き具合により日程や場所が変更となることがある。(注:2階第2会議室を予約済み(9/18))

(以上)